

**2019(令和元)年度日本都市計画学会計画設計賞を受賞！  
学術研究都市の拠点として地域と共生する九州大学伊都キャンパス**

九州大学伊都キャンパスは、272haの広大な敷地に延べ床面積52万㎡、学生・教職員18,700人を擁する我が国最大の単一キャンパスとして2018年に移転を完了しました。2001年の新キャンパス・マスタープラン策定から移転完了に至るまで17年の歳月を費やし、学術研究都市の拠点として、地域社会や地域環境と共生する大学キャンパスを実現しています。

全国に先駆けて実施した学府・研究院制度を活かし、組織再編にも柔軟に対応できる文理融合型の施設群です。学内外の各種分野の専門家の参加によって社会実装の場としての活用も考慮し、複合的な機能と高質なデザインとマネジメントを実現していること、地域と共生する大学に相応しく文化財や環境保全に対応するワーキングなどの検討体制を計画の初期段階から構築していることが高く評価され、2019(令和元)年度日本都市計画学会計画設計賞を受賞しました。

この賞は、都市計画に関する計画、設計、事業などに関する作品の中から、都市計画の進歩、発展に顕著な貢献をしたものを顕彰することを目的として1959(昭和34)年に創設された賞です。

受賞者は、九州大学と、マスタープラン策定から完成まで担当した坂井猛(キャンパス計画室教授)、鶴崎直樹(同准教授)、外井哲志(元工学研究院准教授)、出口敦(元人間環境学研究院教授・現在東京大学大学院教授)です。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰式は行われません。

九州大学伊都キャンパス



○日本都市計画学会授賞作品一覧

<https://www.cpij.or.jp/com/prize/award/list.html>

○九州大学キャンパス計画室

<http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/>

**研究者からひとこと：**

久保千春総長をはじめ歴代の総長と役員会、将来計画委員会と事務局が事業全体を先導していただき、初期より、生態系、考古学、地質、地盤、水循環、建築学、芸術工学、システム情報、農学等の先輩研究者の皆様にお世話になりました。

計画を長年ご指導頂いたマスターアーキテクト委員会の渡邊定夫委員長、安浦寛人理事をはじめ歴代の計画室長と室員、実施に携わられた施設部職員と共に各施設を根気強く練り上げられた設計事務所と施工会社の皆様に感謝申し上げます。

大学周辺の学生の住まいづくりと生活の利便性、通学の快適性、緑地の維持保全等、糸島の環境と共生する学術研究都市づくりの課題解決に向けて、地域の皆様と引き続き取り組みます。

キャンパス計画室 坂井 猛



九州大学  
久保千春総長



坂井 猛(副理事・キャンパス計画室教授)



鶴崎直樹(人間環境学研究院・キャンパス計画室准教授)



外井哲志(元工学研究院准教授)



出口 敦(元人間環境学研究院、現在東京大学大学院教授)